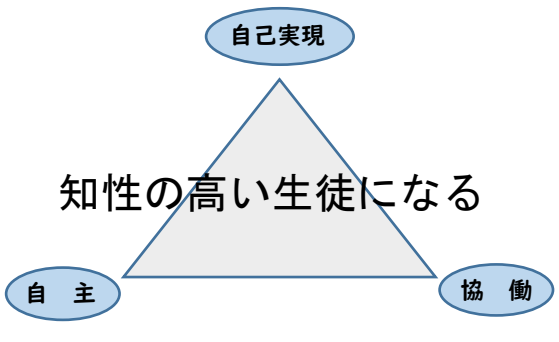
令和５年度　新潟市立白新中学校　学校運営の基本方針

【課題】
不登校生徒・不登校傾向生徒の減少

【重点事項】
部活動改革の推進
〇放課後の時間を生徒がデザインする
〇「白新ユナイテッド」と学校運営協議会との連携

【教育目標】



【目指す生徒の姿】
自己実現に向けて努力する生徒

【育成する資質・能力】
〇自ら考え判断する
〇自分の思いを表現する
〇認め合い励まし合う
〇挑戦しやり抜く

【質の高い教育活動の実施】

〇資質・能力を育む深い学びを目指した授業の充実
◇問題解決学習や体験的な学習を重視する。
◇生徒同士が協働しながら「生徒が学びとる」授業を推進する。
◇求める資質・能力及び評価の観点を明確にした授業を推進する。
◇ファシリテーションプログラムを実施し、スキルの向上を図るとともに、ファシリテーションの機会の充実を図る。

〇自己理解につながる多様な価値観に触れる機会の充実
◇特別の教科道徳の時間を核に、道徳教育の充実を図る。
◇「地域のために、地域に出て、地域の人と学ぶ」総合的な学習の時間の充実を図る。
◇自分の生き方を見つめ直すために、未来への足跡ノートの継続活用及びキャリアパスポートの効果的な活用を図る。

〇多様性を理解し，他を受容する資質の養成
◇ＵＤ,SDGs の視点からの教育活動を推進する。
◇特別支援学級の授業及び交流学習の充実を図る
◇川岸分校との交流及び学習環境の共有を継続する。

〇リーダー経験を中心に自己有用感の向上を目指した活動の充実
◇三大行事（体育祭・演劇・合唱発表会）を核に行事と日常活動の連動を図る。
◇行事の実行委員会活動と生徒会活動の役割の明確化を図る。
◇学級活動や生徒会活動の充実を図り、集団への所属感を高める。
◇日常活動の充実を図るとともに、個と集団の自浄作用を高める活動を促進する。

〇個別の課題に応じた指導・支援の充実
◇生徒の課題の把握、役割分担を明確にした対応のためのケース会議を核にした体制の強化を図る。
◇校内適応指導教室や保健室の活用ルールを明確にするとともに、関係機関との連携を強化する。
◇教育相談体制の充実を図る。
◇小学校との連携を強化する。

【持続可能な学校づくり】

〇地域と共にある学校を実現するためのコミュニティスクールの推進
◇学校・家庭・地域の役割分担を明確にするために学校運営協議会の充実を図る。
◇目指す生徒像の実現、課題の解決につながる大人の学びの場の充実を図る。
◇目指す生徒像の実現、課題の解決に向けた小学校との連携を強化する。
◇積極的な情報発信・情報共有システムを構築し活用する。
◇教職員の主体的な地域行事への参加や地域人材の積極的な活用を推進する。
◇防災を視点とした活動を推進する。
◇「白新ユナイテッド」との連携を図り、活動の評価及び改善・充実を図る。
◇部活動の地域移行について、関係機関等の情報及び活動の様子を積極的に情報発信する。

〇GIGA スクール構想の積極活用
◇個別最適化した教育の実現を目指しタブレットの効果的な活用を推進する。
◇オンラインを活用した授業・活動の充実を図る。

【効率的な学校運営の実現】

〇持続可能な組織運営の実現
◇各分掌の役割の明確化及び各種計画等のガイドライン化を進める。
◇学校行事の活動において、ねらい達成に向けた適切な活動期間を設定し活動計画を共有する。

〇学校力の向上につながる働き方改革の推進
◇勤務時間の徹底、電話の応答時間の徹底を図り、組織的な時間外勤務時間の縮減を実現する。
◇全教職員が、超過勤務月４５時間以内を実現する。

〇ＩＣＴの活用による業務改善の推進
◇ホームページ、ＳＮＳ、配信メール等を活用し、情報提供を活性化するとともにペーパーレスを推進する。
◇健康観察やアンケートの実施等、タブレットを積極的に活用する。

【目指す教師の姿】

〇誰からも信頼される人間味溢れる教師
◇目的を大切にして、自ら考え判断し、行動することができる
◇信念をもって自らの思いを表現することができる
◇多様な価値観をもつ人と認め合い励まし合い、協働することができる
◇生徒の良き見本として、社会人としての資質の向上に向け努力し続けることができる

【教師として大切にする４箇条】

〇自信をもつこと
〇謙虚さを忘れないこと
〇感謝の気持ちを忘れないこと
〇優しさを忘れないこと

【質の高い職員集団の育成】

〇授業力・指導力の向上を目指した研修の充実
◇個の課題解決を中心とした授業改善研修の継続・充実を図る
◇教育ビジョンの４つのプロセスを重点とした研修を実施する。
◇新潟大学教職大学院特定連携校としての機能の活用を図る。

〇部活動改革により生まれる時間の効果的な活用
◇個人の資質・能力に向けた研修を計画的に行うとともに、その学びを全職員で共有する。

〇人間力の向上を目指した研修と高い同僚性の実現を目指した活動の充実
◇コンプライアンスの徹底及び接遇能力の向上のための研修を実施する。
◇職員の専門性や多様な経験を活かした研修、多様な価値観に触れる研修や活動の充実を図る。